

- ・新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言の再発令を踏まえ、会場開催を中止し、オンラインのみの開催とします。
- ・既に会場参加で申し込まれた方は、オンライン参加への申し込みに切り替えますので、再度の申し込みは不要です。
- ・日程のうち「各社との質疑応答」は割愛します。
- ・オンライン開催はZ o o mを使用します。
- ・申込者には申し込み完了メールと別に、開催7日前までにZ o o mから案内メールをお送りします。
- ・案内メールが届かない場合は、事務局 jinji@kochinews.co.jp までお問い合わせください。

河北新報 信濃毎日新聞 中国新聞 高知新聞 地方紙4社合同記者セミナー

参加者募集

「全国紙と地方紙の違いは?」「地方紙記者のやりがいて?」…。

人々の暮らしに密着しながら足元で起きている問題を丹念に追い、世に問い掛ける。世界や全国で起きている課題を地域に引き付けて問題提起し、他人事でなく我が事として考えてもらう。そうした中で読者の反響をダイレクトに実感できるのが地方紙記者の大きな魅力です。新聞記者が向き合うべき「現場」は、霞が関や永田町ではなく、人々の息遣いが感じ取れる地域にこそあるのです。

地方紙4社合同記者セミナーでは、分かりやすいニュース解説でおなじみのジャーナリスト池上彰さんが、記者の面白さや社会の中で果たす役割を解説します。東北、信州、中国、四国を拠点にそれぞれの地方紙で活躍する若手・中堅記者たちも、日々の取材を熱く語ります。皆様のご質問に、各社の記者や採用担当者がお答えします。記者になりたい、地方紙についてもっと知りたいという学生の皆さん、地方紙記者のやりがいをぜひ感じ取ってください。

オンラインによる聴講(池上さんの講演とパネル討論のみ)も可能です。

日時	2021年2月6日(土)正午	
会場	日本プレスセンタービル10階ホール(東京都千代田区内幸町2-2-1)	
主催	河北新報社、信濃毎日新聞社、中国新聞社、高知新聞社	
対象者	新聞記者を目指す大学生、大学院生	
定員	会場 100人 オンライン 100人 ※参加無料で、事前申し込みが必要です。各社のホームページからお申し込みください。会場とオンライン両方の申し込みはできません。どちらかを選択してください。会場の都合により先着順とさせていただきます。 ※新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催の変更や中止もあり得ることをご了承ください。	
日程	12:00	開会
	12:10	特別講演「記者になりたい」 講師 池上 彰 氏(ジャーナリスト)
	13:30	パネル討論「地方紙の現場から」 パネリスト 4新聞社の記者
	15:00	各社との質疑応答(4社のブース設置)
	16:30	閉会



問い合わせは、地方紙4社合同記者セミナー事務局(河北新報社人事部)へ

電話：022-211-1437

Mail：kahoku-saiyo@po.kahoku.co.jp